

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		備考
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法	
巡回・窓口相談指導事業	課題解決指導を最優先とし個々の事業所の経営能力のレベルアップをきめ細かく行っていく。また、それ以外で会員・非会員事業所を問わず巡回を行い会議所の諸施策の説明・指導を行う。その巡回で課題解決に誘導できるものは積極的に巡回を行う。	経営指導員個々が担当する業務の中で、担当業務での強みを活かした課題解決指導を行った。また、管内巡回指導を行うにあたり指導員ごとに担当地区を決め、地域内の小規模事業者の計画的な巡回を行った。 ・巡回窓口指導実企業数 経営指導員5人 949社(非会員166社) ・巡回窓口指導延件数 経営指導員5人 2,268社(非会員244社) ・課題解決提案件数 経営指導員5人 83社 ・経営革新承認件数 経営指導員5人 2件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 151.2 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 166.0 %)	小規模事業者を直接訪問し経営指導員がその事業所の内容をよく把握し適切な経営指導ができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	実施方法 両方現行どおり	毎月巡回件数を確認し目標達成に努力する。			
記帳継続指導	小規模事業者を対象に日々の帳簿の付け方から、年末調整、決算書、確定申告書、消費税申告書の作成指導を行う。	・記帳継続指導 18事業所 ・記帳機械化指導 27事業所 ・指導延日数 221日 ・指導延回数 452回	小規模事業者及び税理士関与のない事業所	指標 記帳継続指導事業所数 (達成度 81.8 %)	指標 記帳機械化指導事業所数 (達成度 96.4 %)	記帳継続指導と機械化指導の対象者計45事業所について日々の記帳から決算、申告までの指導を行った。1事業所あたり3回以上対面形式で帳簿の作成などの問題について指導を行った。市内の小規模事業者に正しい記帳の仕方を指導し、レベルアップに寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	実施方法 両方現行どおり	会計ソフトを使って記帳している事業所に対しても指導範囲を広げる。			
講習会等	・講習会 小規模事業者等に対して、必要な経営知識を提供し資質向上と経営体質の強化に資するために実施する。 ・せと・しごと塾 地域のニーズや課題をビジネスとして継続的に取り組む「地域ビジネス」の創業を瀬戸市内にて目指す方を対象に、地域ビジネスを創業するために必要となる知識等を学べる機会を提供することで、就業の1つである起業が創出させる環境づくりを図り、地域経済の発展に寄与する。	・講習会開催回数及び受講者数 集団 34回 351名 (内、経営革新 1回 6名) 個別182回 251名 計 216回 602名 ・しごと塾 受講者数18名 座学 15日 19科目 60時間 個別相談 39回 121名	小規模事業者	指標 集団・個別 参加人数 (達成度 79.0 %)	指標 せと・しごと塾 参加人数 (達成度 120.0 %)	・集団・個別講習会を開催することにより小規模事業者が最新の知識を身に付け、経営体質強化を図ることができた。 ・しごと塾 独立開業予定者が基礎知識を身に付け、瀬戸市内にて創業することにより、市内の事業所数も増加し、「地域ビジネス」として起業することで地域貢献となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持	実施方法 両方現行どおり	・講習会 特に実施方法は変えないが事業所ニーズを把握しさらに内容を検討し充実した講習会とする。また、Webセミナーの受講を勧める。 ・しごと塾 瀬戸市と協力しながら事業を進める。地域ビジネス色の濃い内容は、市役所交流学び課に案内して、しごと塾は本格的な創業を目指す方の支援に特化する。			
若手後継者等育成事業	企業経営者(後継者等)、企業経営に携わる女性に対して、研修会等を開催し企業経営者として研鑽をつみ、当所事業活動に積極的に参加・協力を通じ地域内の商工業の振興を図る。	・青年部 勉強会1回 30名、会長研修会参加1回 3名 ・女性会 勉強会2回 50名、全国大会参加1回 3名 ・満足度調査 90%	小規模事業者等を中心とする青年部女性会会員	指標 勉強会・研修会参加人数 (達成度 153.6 %)	指標 満足度調査 (達成度 128.6 %)	資質向上の研修会等を通じて自己研鑽、組織運営の手法を学ぶことにより自社の活性化や地域振興活性化につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	実施方法 両方現行どおり	青年部・女性会とともに自己研鑽にこれからも務める。			
地域産業祭事業	瀬戸市を代表する地場産業をPRする産業祭である「せともの祭」「せと陶祖まつり」を開催する。このイベントにより直接的(販売)な経済効果・間接的には全国的な知名度アップにつなげる。	・せと陶祖まつり 4月20日(土)、21日(日) ・せともの祭 9月14日(土)、15日(日)	小規模事業者及び中小企業者	指標 せと陶祖まつり来場者数 (達成度 96.7 %)	指標 せともの祭来場者数 (達成度 130.0 %)	参加事業者の各個店の活性化、市内産業観光に貢献した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①廃止する②現状維持	実施方法 ①廃止する②現行どおり	令和2年のせと陶祖まつりは、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。地場産業である陶磁器関連業種を支援していく大きなイベントで、さらに内容を充実させていく。			
商店街振興事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元商店街が抱える様々な経営課題解決に向け、瀬戸市商店街連合会との協力体制の下、地域の消費喚起などを図り、各種事業に取り組む。	・瀬戸市商店街連合会事業への協力 ・定例打合せ会 11回、各種会議等 3回 ・視察研修会 1回	小規模事業者を中心とする市内商店街	指標 商店街活性化事業会議開催回数 (達成度 116.7 %)	指標 視察研修会開催回数 (達成度 100.0 %)	商店街並びに商店主の意識高揚につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	実施方法 両方現行どおり	瀬戸市商店街連合会との連携により先進地視察等の事業を実施し商店街活性化に努める。			
情報収集提供事業	当所が発行する「会議所ニュース」「メールマガジン」により小規模施策・各種事業をPRし小規模事業者の各種制度等の利用を勧奨する。	・会議所ニュース 年 8回 ・メールマガジン 年24回	小規模事業者	指標 会議所ニュース発行回数 (達成度 100.0 %)	指標 メールマガジン発行回数 (達成度 100.0 %)	「会議所ニュース」「メールマガジン」により各種事業をPRし、小規模事業者の各種制度等の利用を促し、事業所のレベルアップに寄与した。また、全戸配布版の会議所ニュースにより会議所で行う事業等を市民に周知することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	実施方法 両方現行どおり	会議所事業の周知・PRをさらに積極的に行う。			
商談会事業	・地域商談会(尾張会場) 瀬戸市内の中小・小規模企業者を中心とした企業が、受注機会の増大及び新規取引先の開拓を図るとともに、企業間の情報交換を通じ共同受注、共同開発、技術提携を促進することにより振興を図る。 ・アライアンス・パートナー 愛知県下の商工会議所(22商工会議所)の会員事業所に商談・PRの場を提供する。 ・企業お見合い、「き」業展 当市及び多治見市周辺の商工会議所・商工会に会員事業所の商談・PRの場を提供する。	・地域商談会(尾張会場) 開催日 6月13日(木) 商談会場 稲沢市勤労福祉会館 参加企業1社 ・アライアンス・パートナー 商談期間 6月24日(月)～6月28日(金) 商談会場 名古屋商工会議所 3企業がエントリ ・企業お見合い 商談期間 10月25日(金) 商談会場 多治見市産業文化センター 参加企業1社 ・「き」業展 商談期間 1月31日(金)、2月1日(土) 商談会場 セラミックパークMINO	小規模事業者及び中小企業者	指標 参加企業数 (達成度 41.7 %)	指標 (達成度 %)	・地域商談会(尾張会場) 下請中小・小規模企業者の受注機会の増大及び新規取引の開拓をすることにより振興を図ることができた。 ・アライアンス・パートナー 愛知県下の各地事業者の取引機会を増やすことができた。 ・企業お見合い・「き」業展 事業者の取引機会を増やすことができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	・地域商談会(尾張会場) 地域の参加企業が増えるようにPRを積極的に行っていきたい。 ・アライアンス・パートナー 商談の機会を設けるイベントとして非常に意義がある。PR方法を検討して参加者数を増やしていきたい。 ・企業お見合い・「き」業展 PRを積極的に行い参加者を募る。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

